

個人投資家さま向け 会社説明会

－ TAKARA & COグループの事業内容と成長戦略－

取締役／営業本部長

野村 周平

■本日ご説明させていただく内容

- 1 会社概要
- 2 グループ事業内容
- 3 決算内容 – 2024年5月期 第2四半期 –
- 4 成長戦略 – 中期経営計画2026 –
- 5 株主還元

会社紹介動画をご視聴ください。



1 会社概要

1-1 会社情報

商号	株式会社TAKARA & COMPANY
創業	1952年（創業71周年）
代表者	堆 誠一郎（代表取締役社長）
本社所在地	東京都豊島区高田 （JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線「高田馬場駅」徒歩7分）
事業内容	グループ会社の経営戦略の立案および管理・付帯業務
決算月	5月
従業員数	1,141名（連結）
グループ会社	19社
上場市場	東京証券取引所プライム市場（証券コード7921）



代表取締役社長
堆 誠一郎



東京本社



1-2 2つのセグメントで構成

ディスクロージャー関連事業

制度開示・任意開示書類の作成支援

ディスクロージャー&IR

ICT

コンサルティング



有価証券報告書



招集通知



統合報告書

通訳・翻訳事業

言語によるコミュニケーションの
深化をサポート

グローバル

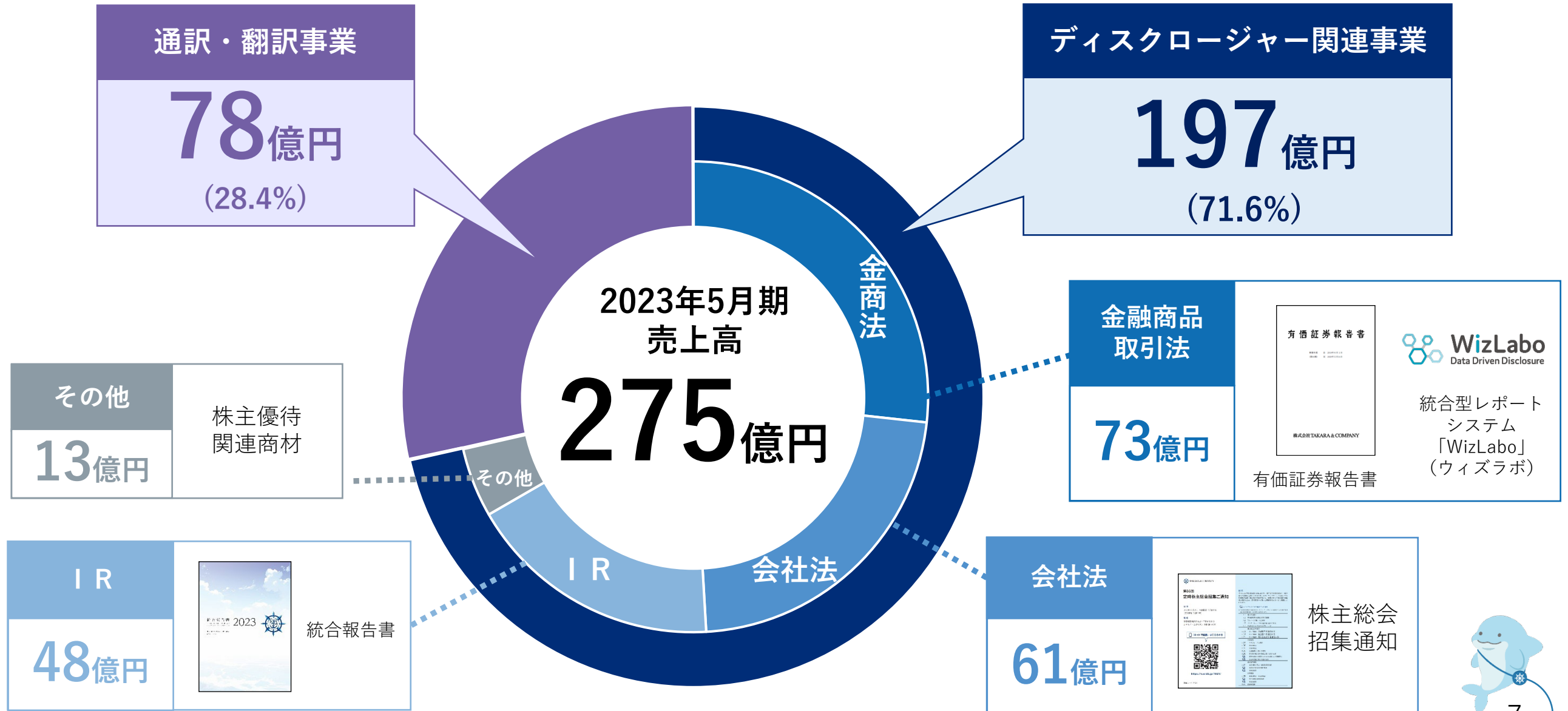


通訳

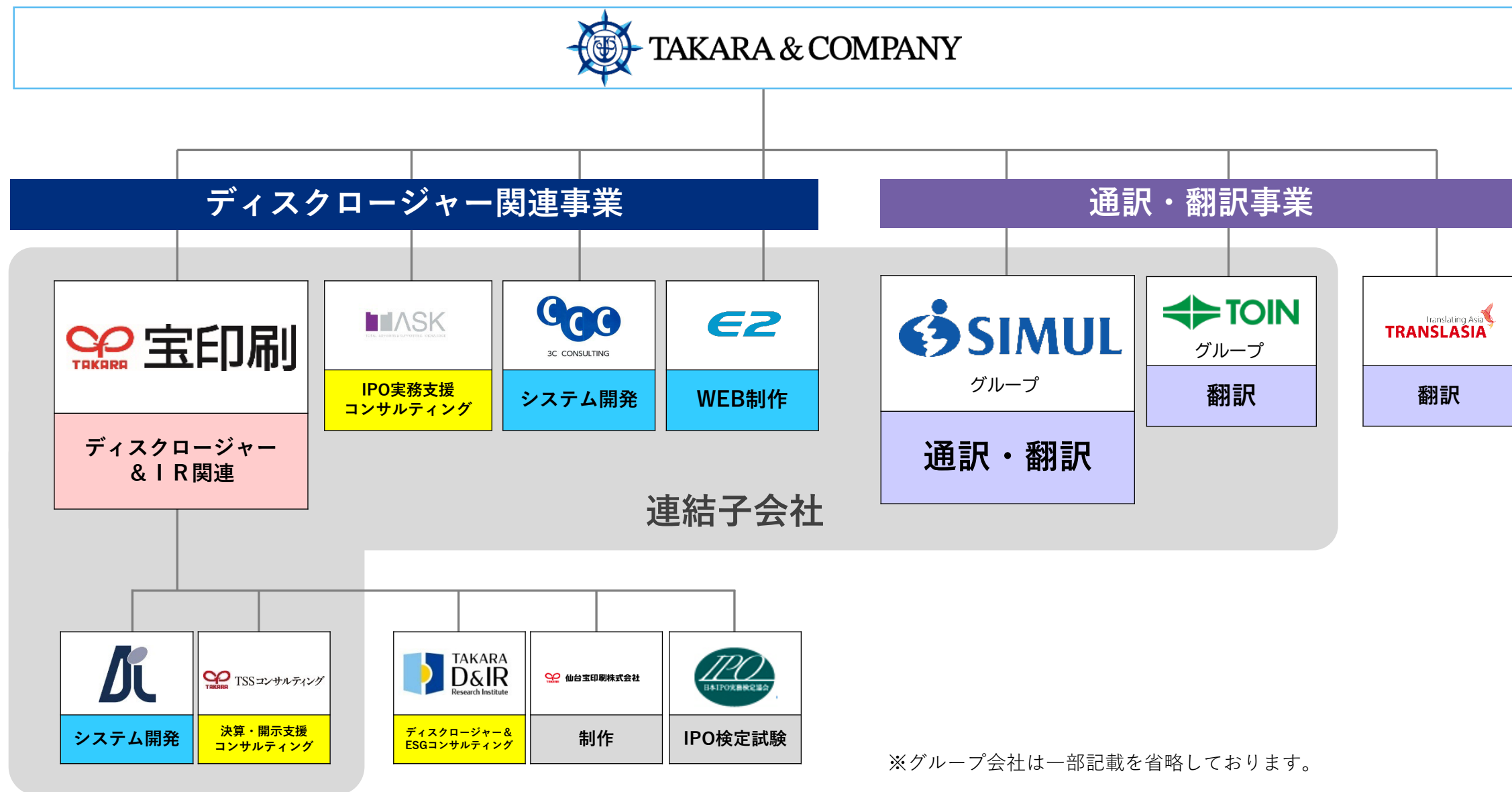


翻訳

1-3 売上高構成比（2023年5月期・通期）



1-4 グループ会社一覧



※グループ会社は一部記載を省略しております。

企業理念 Corporate Philosophy

社会の公器としての使命を果たす

目指す姿 Vision

グループ各社の専門性を磨き、お客様の企業価値拡大に貢献し、
社会になくてはならないグローバル企業であり続ける

行動指針 Credo

- 1 顧客とともに新たな価値を創造する
- 2 倫理と道義を重んじる
- 3 専門能力を高め、顧客とともに成長する
- 4 お互いを認め合い、高め合う
- 5 社会の公器として正しいかどうかを判断基準とする





舵輪

羅針盤

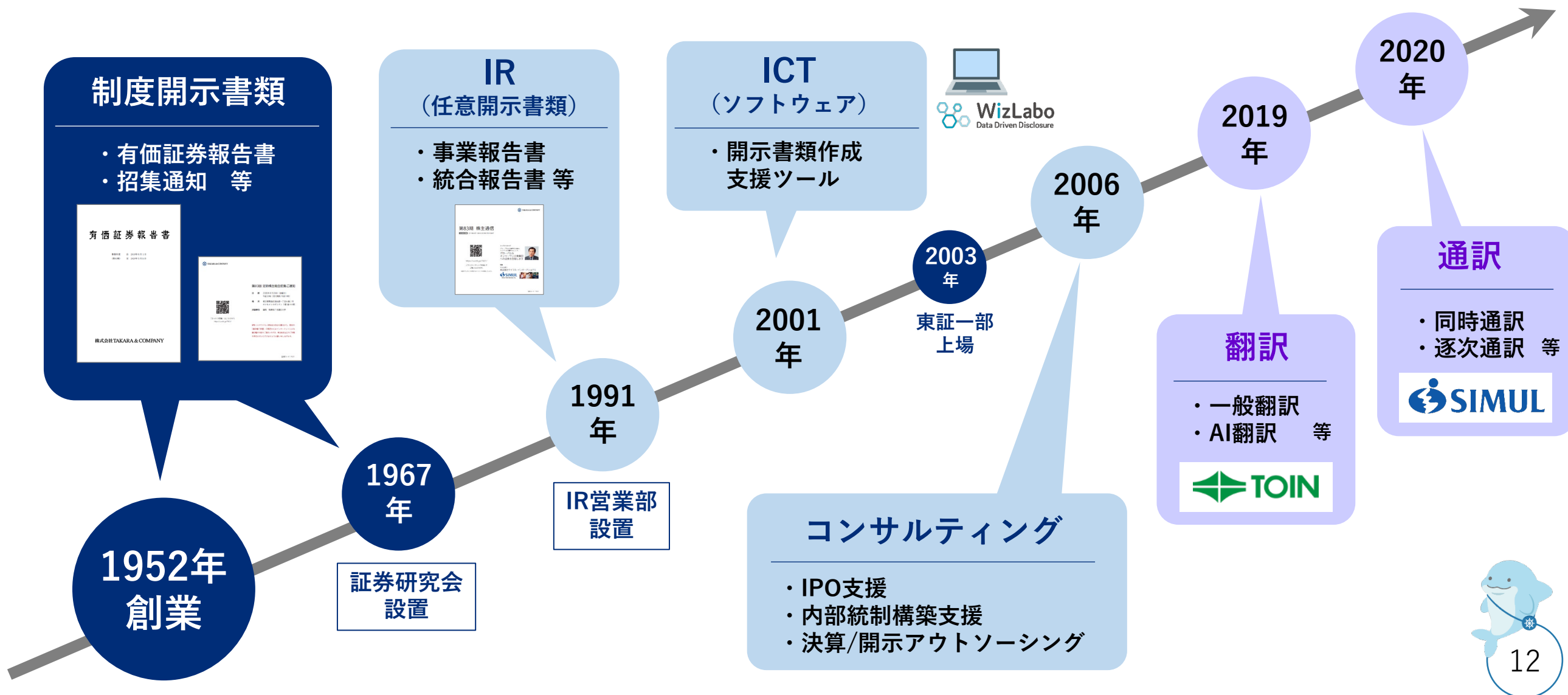
盾

中心に「T&C」の文字を重ね合わせ盾の形に。
グループ会社が一丸となって各ステークホルダー
の価値を守り固めていくコア・バリューを象徴。

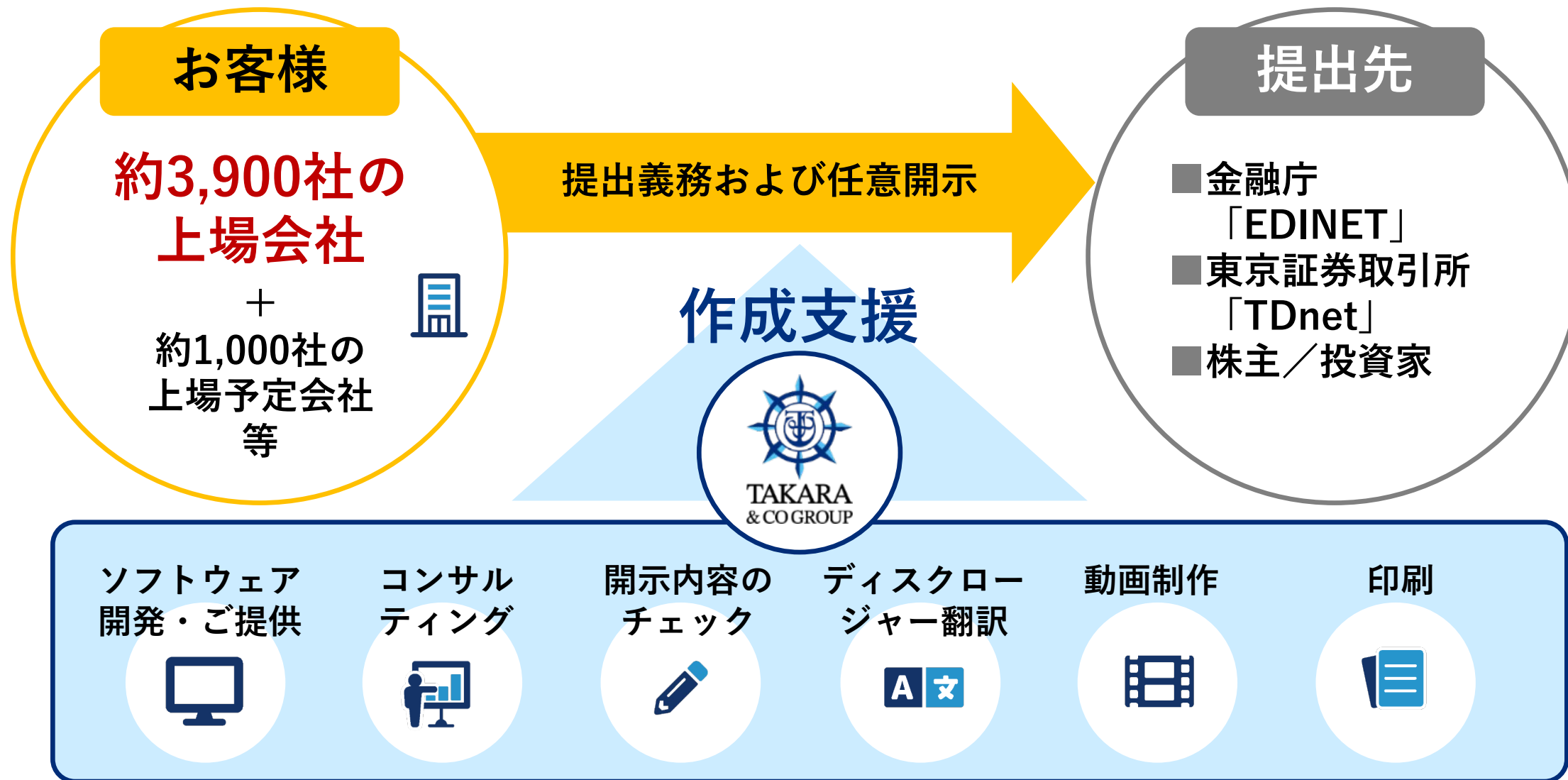
2 グループ事業内容

2-1 事業領域の拡大

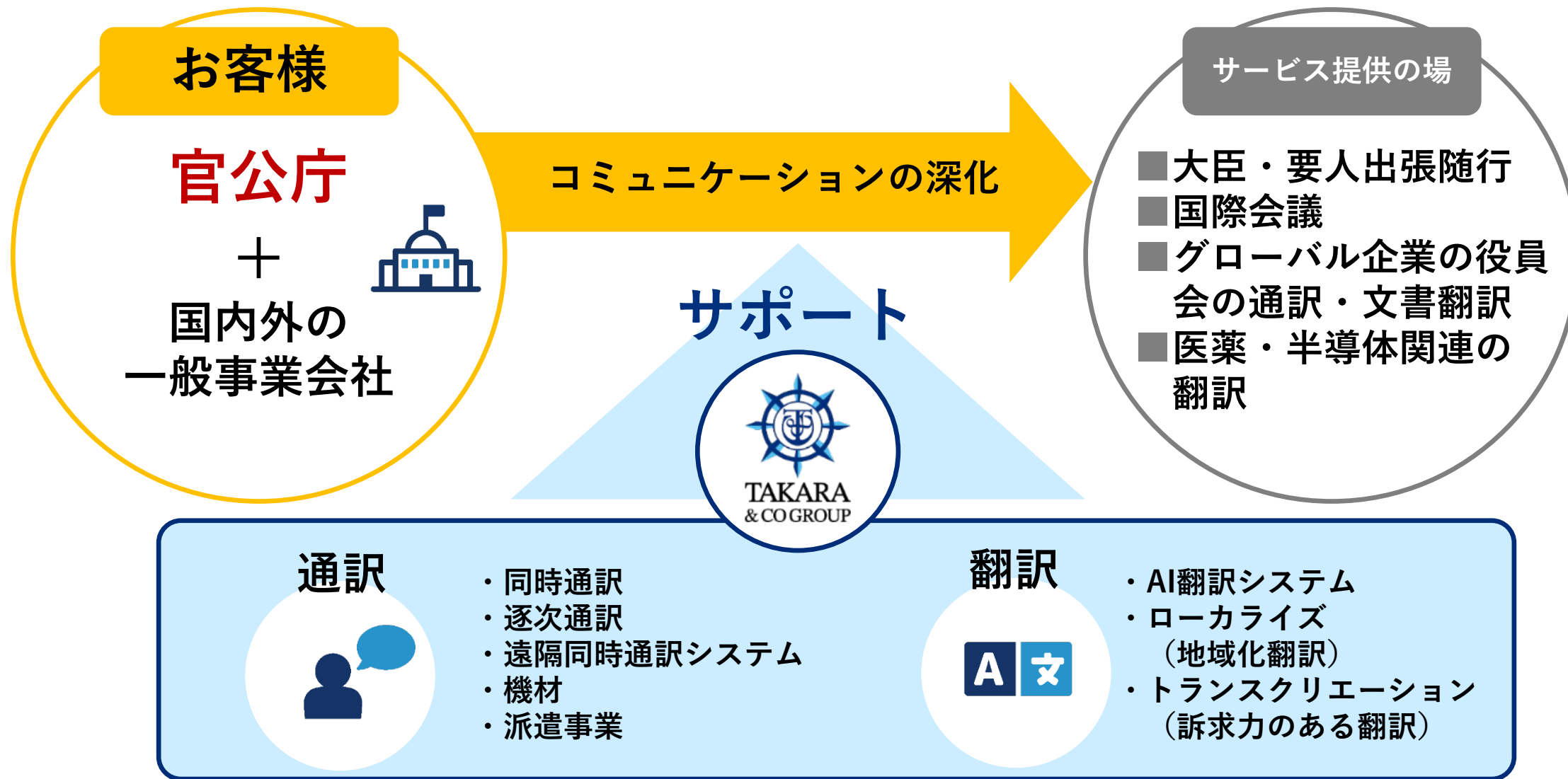
ディスクロージャーとIRを中心に事業領域を拡大



上場会社・IPO予定会社の情報開示をトータルサポート



高品質な通訳・翻訳サービスをご提供



3 決算内容

-2024年5月期第2四半期-

3-1 過去10年の通期の業績推移（売上高・営業利益）

11年連続増収、6年連続増益を達成

■ 売上高 ■ 営業利益
(百万円)

開示書類作成支援ツール「X-Smart.」販売開始

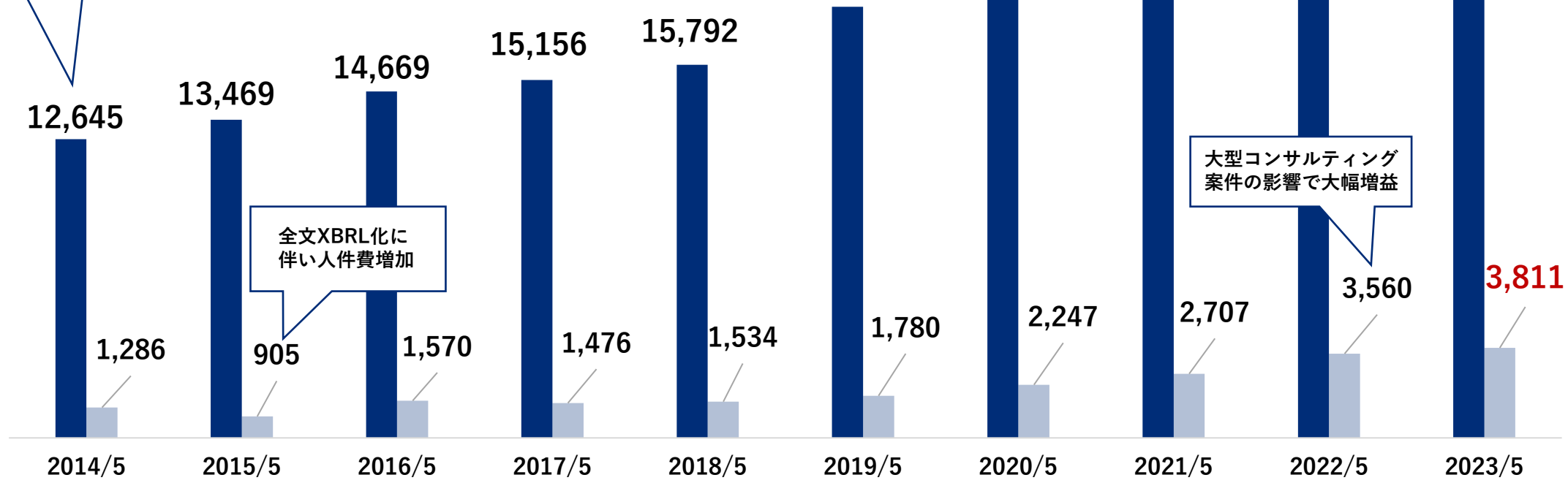
全文XBRL化に伴い人件費増加

サイマル・グループを連結範囲に含める
.....
コロナの影響で招集通知の納品が後ろ倒し

セグメントを2区分に変更

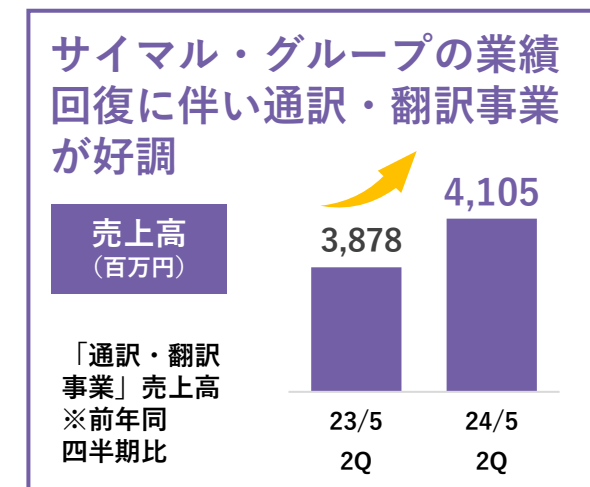
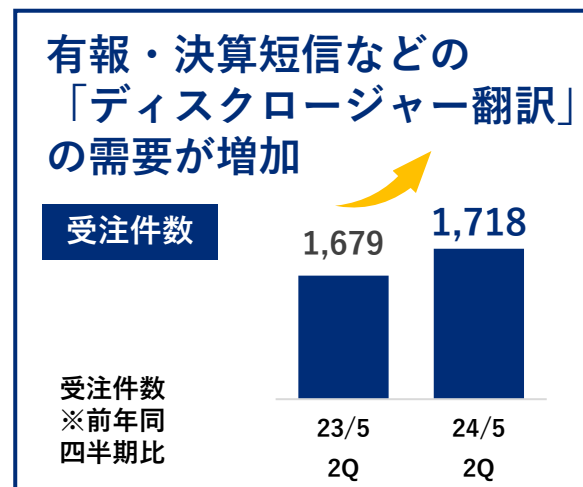
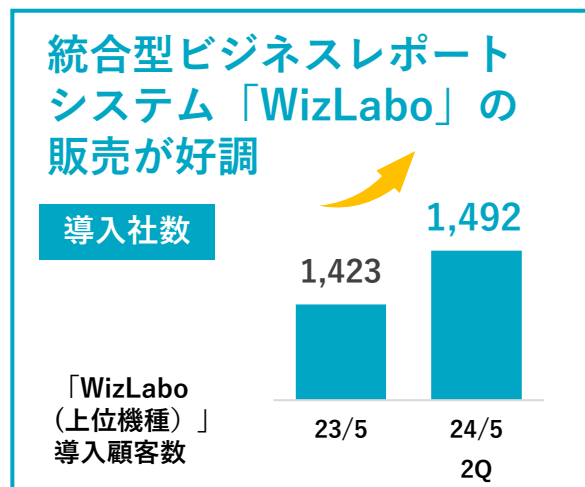
統合型ビジネスレポートシステム「WizLabo」販売開始

大型コンサルティング案件の影響で大幅増益



3-2 ハイライト (2024年5月期 第2四半期)

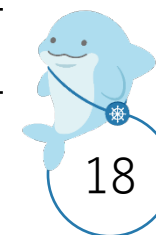
総括	ディスクロージャー 関連事業	売上高 →	有報や決算短信などの「ディスクロージャー翻訳」需要の伸長により増収
		利益 →	WL導入顧客数増加。コンサルティング、目論見書の売上増加により増益
	通訳・翻訳事業	売上高 →	G7サミットをはじめコロナ禍からの経済活動正常化の戻りとともに増収
		利益 →	売上増加に加え社内システムのDX化による生産性向上の影響により増益



3-3 業績サマリー（2024年5月期 第2四半期）

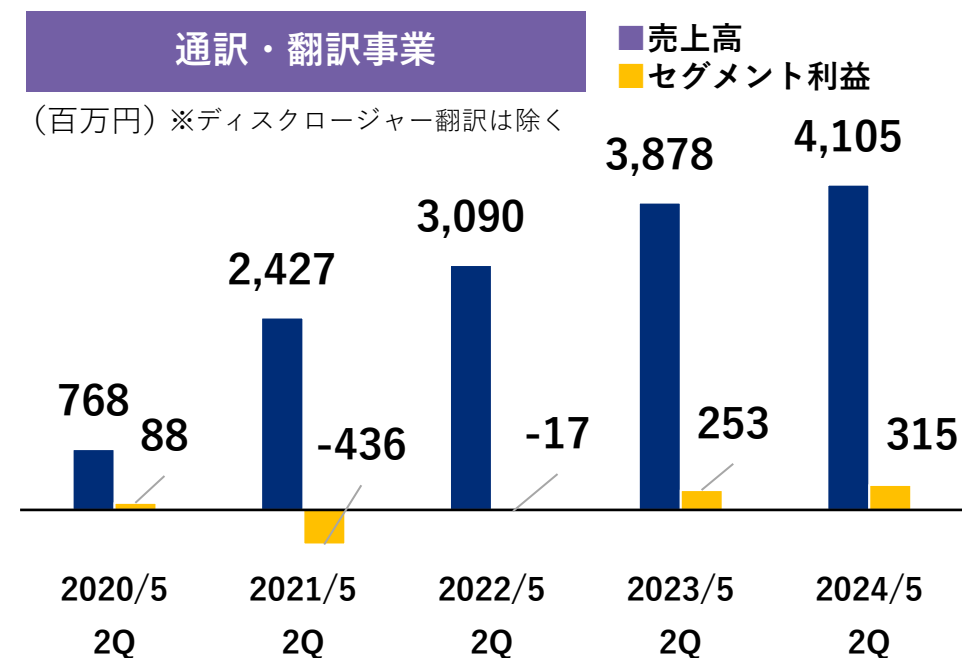
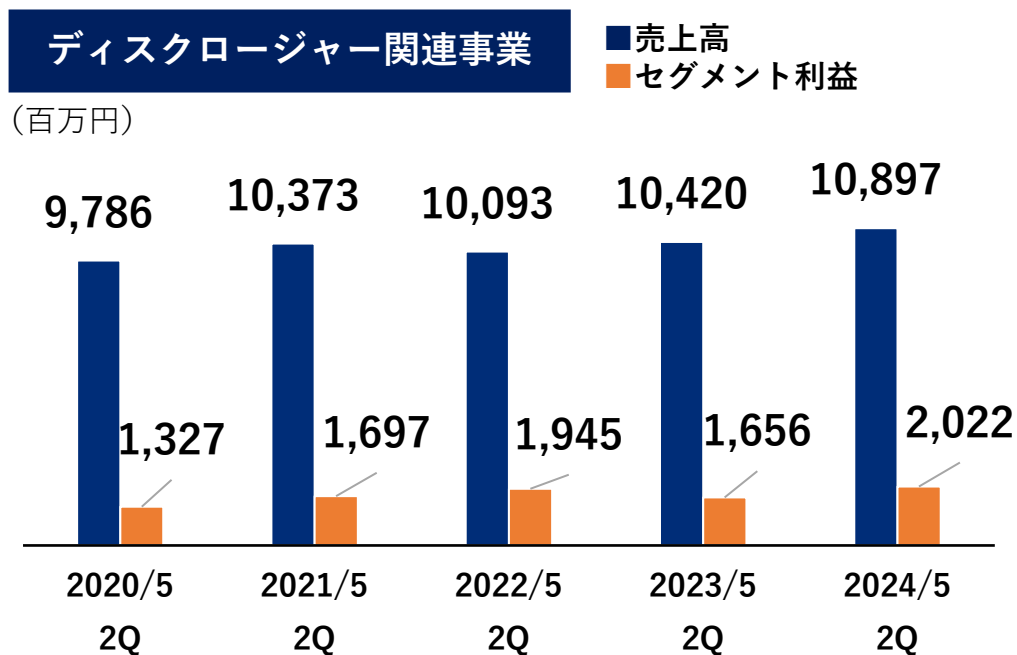
	2023/5 2Q		2024/5 2Q		増減	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	増減率（%）
売上高	14,298		15,003		704	4.9
売上原価	8,306	58.1	8,599	57.3	292	3.5
売上総利益	5,992	41.9	6,404	42.7	412	6.9
販管費合計	3,787	26.5	3,900	26.0	112	3.0
営業利益	2,204	15.4	2,504	16.7	299	13.6
経常利益	2,281	16.0	2,551	17.0	270	11.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,498	10.5	1,681	11.2	182	12.2

	2023/5 期末	2024/5 2Q	増減
総資産（百万円）	33,443	33,121	△322
純資産（百万円）	25,082	26,401	1,318
自己資本比率（%）	74.0	78.7	4.7Pt



3-4 セグメント情報（売上高・セグメント利益）

		2020/5	2021/5	2022/5	2023/5	2024/5
		2Q	2Q	2Q	2Q	2Q
		金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）
ディスクロージャー 関連事業	売上高	9,786	10,373	10,093	10,420	10,897
	セグメント利益	1,327	1,697	1,945	1,656	2,022
通訳・翻訳事業	売上高	768	2,427	3,090	3,878	4,105
	セグメント利益	88	△436	△17	253	315

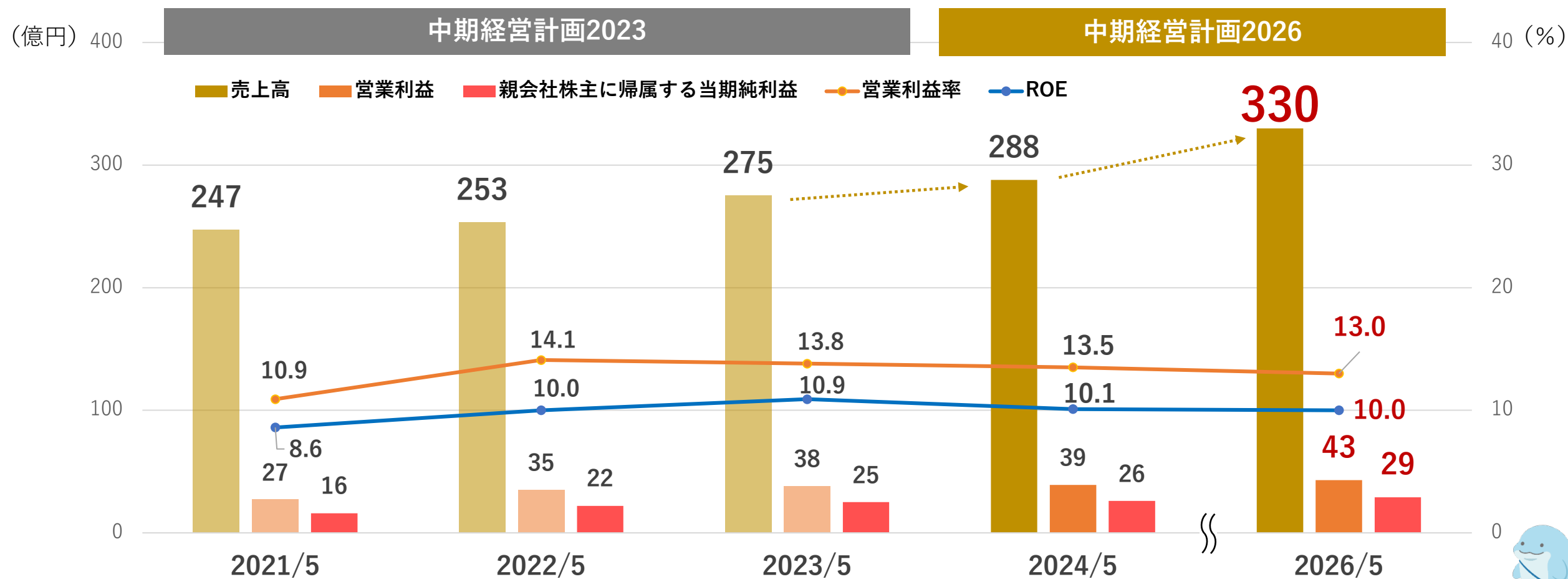


4 成長戦略









-中期経営計画2026-

4-1 中期経営計画2026

2026年5月期（最終年度）には、売上高330億円、営業利益43億円、親会社株主に帰属する当期純利益29億円、営業利益率13.0%、ROE10.0%超を目標とする。



4-2 市場環境と事業戦略

		市場環境	当社への影響／具体的施策	
ディスクロージャー関連事業	金融商品取引法	有価証券報告書へサステナビリティ情報の記載が義務化	 アドバイザリー・コンサルティングなど 情報提供の強化	
		プライム市場の上場企業を対象に重要情報の英文開示が義務化		ディスクロージャー翻訳 の需要が増加
		四半期報告書の決算短信一本化	新たなサービス体系のご提案	
	会社法	招集通知の電子化	 「ネットて招集」などの 電子化商材 の需要が増加	
		ESG情報開示の機運の高まり		統合報告書 作成企業数の増加
				
		市場環境	当社への影響／具体的施策	
通訳・翻訳事業	通訳	大型イベントの復活により通訳需要が増加	通訳者のリソース確保 、継続的な採用・育成	
	翻訳	AI翻訳が世界的に普及	^(※) MTPE (AI翻訳+後編集) により効率的に対応できる体制強化	

※MTPE (Machine Translation Post Editing)：機械翻訳ポストエディット



4-3 5つのマテリアリティ（重要課題）

5つのマテリアリティ（重要課題）

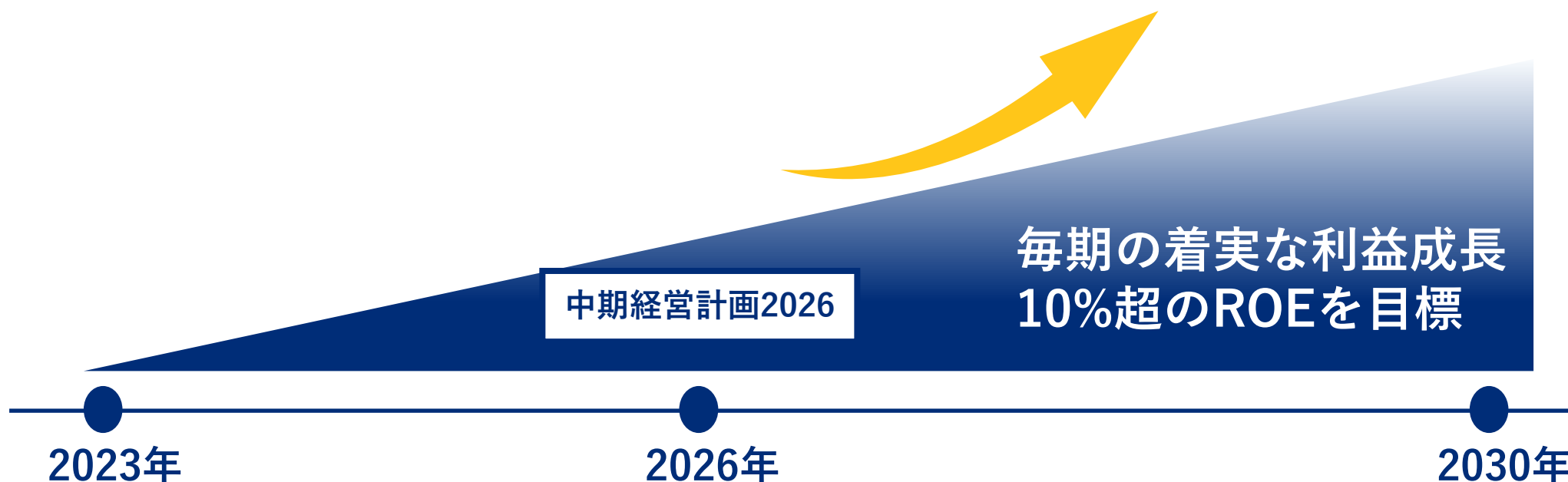
専門知識の
蓄積・研鑽と
発信

従業員の
幸せ

ステークホルダー
との共栄

環境問題解決
に向けた
ソリューションの
創出

ガバナンス
の深化



4-4 グループで取り組むESG

E

環境

FSC森林認証紙



違法に伐採された木材等を使用しない「環境配慮型印刷」を提案。使用件数は年々増加しており、お客様と共に環境負荷低減に取り組んでいる。

- ・環境マネジメントシステム（省エネ／空調管理／ゴミの分別等）
- ・CO2排出低減（電気使用量限定）

S

社会

ダイバーシティ推進プロジェクト



2009年からプロジェクトを発足。社会情勢の変化と共に生産性を高める効率的な働き方について毎月ディスカッションを実施。

- ・女性活躍推進／時短・育児制度
- ・雇用の多様性
- ・ステークホルダーとのコミュニケーション等

G

ガバナンス

透明性のある内部統制システムの構築

■社外役員制度

2005年から社外取締役制度を導入。現在は取締役7人のうち4人を社外取締役で構成。監査役は3人のうち2人を社外監査役で構成。

■指名・報酬委員会

■サステナビリティ委員会

■情報セキュリティ委員会

4-5 グループで取り組むSDGs

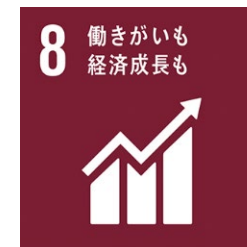


当社グループは、これまで培った事業基盤を通じてグローバルな社会問題の解決に向けて、**目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」**を始めとする右記の目標に貢献し、具体的な活動に取り組んでいます。

事業活動

基盤領域を通じ責任ある事業を行う

- ディスクロージャーのインフラ基盤構築
- 資本市場の活性化への貢献
- グループ一体経営



生活

安全・安心な暮らしを支える

- ダイバーシティ推進
- 外国人雇用
- 女性活躍推進
- 障がい者雇用
- 育児休業制度
- 介護休業制度
- シニア人材雇用
- 社会貢献活動団体への寄付



環境

資源を大切に自然と共存する

- FSC森林認証
- 刷版廃液削減装置
- GP認証
- 電力使用量削減
- ISO認証
- コピー用紙使用量削減
- 省エネ推進
- VOC警報器



5 株主還元

5-1 株主還元

配当方針

安定配当

配当性向

40～50%

配当金

2023年5月期

70円

中間配当35円
期末配当35円



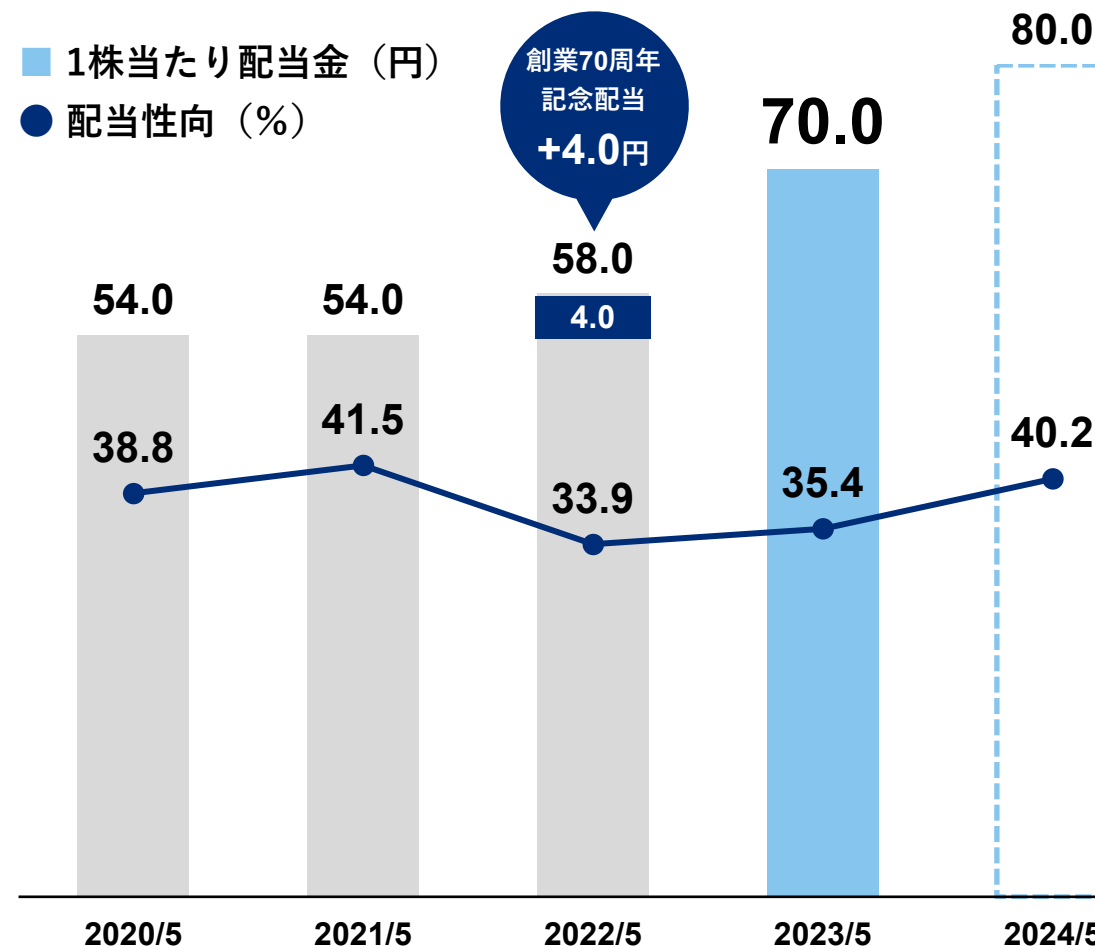
2024年5月期

80円 (予想)

中間配当40円
期末配当40円

配当金/配当性向の推移

■ 1株当たり配当金 (円)
● 配当性向 (%)



5-2 当社の強み

1 必要性 **なくてはならない社会インフラ** … “開示が義務付けられている” 書類を作成

2 安定性 **安定した顧客基盤** …上場会社を中心に幅広いお客様に支えられている

3 健全性 **財務内容が良好** …11年連続増収・6年連続増益を更新中

4 積極性 “開示”に関する周辺分野にM&Aにより事業領域を拡大中

5 還元性 **株主様への利益還元を最重要課題として認識**



株価	2,806円 (2024年2月2日 終値)
単元株数	100株
最低購入代金	280,600円
1株配当	80円 (中間配当 40円/期末配当 40円) ※予想
配当利回り	2.85%



TAKARA
& COMPANY

総務部 広報IR課 **WEB** <https://www.takara-company.co.jp/>